

1. 件名：福島第一原子力発電所原子炉建屋の耐震安全性評価と長期健全性評価に係る面談

2. 日時：令和3年4月15日（木）16時00分～16時50分

3. 場所：原子力規制庁 6階会議室

4. 出席者

原子力規制庁

原子力規制部 東京電力福島第一原子力発電所事故対策室

澁谷企画調査官、久川係員

東京都立大学大学院 都市環境科学研究科建築学域

橘高教授（テレビ会議システムによる出席）

東京電力ホールディングス株式会社

プロジェクトマネジメント室 2名（テレビ会議システムによる出席）

福島第一原子力発電所 3名（テレビ会議システムによる出席）

5. 経緯

令和3年3月22日に開催された第89回特定原子力施設監視・評価検討会において、東京電力ホールディングス株式会社（以下「東京電力」）から説明のあった以下の事項について、当該検討会に外部専門家として出席していた橘高教授から追加の説明を求められたことから本面談を実施することとした。

✓ 2月13日に発生した福島県沖地震の観測記録について

✓ 3号機を代表とした地震応答解析の評価方法について

6. 要旨

○東京電力から資料に基づき、3号機の耐震安全性評価に関する説明が行われた。

○橘高教授より、原子炉建屋の耐震安全性評価と長期健全性評価について技術的な質問がなされ、都度東京電力より回答があった。

✓ 特に、せん断スケルトン曲線上の最大応答値を評価する上で、施設が劣化している状態をどのようにモデル化するかという点を中心に質疑が行われた。

○今回の評価には2月13日に発生した地震の影響が反映されていないため、今後、大きな地震や長期間の劣化等による施設の状態の変化についても適宜評価に反映することとした。

○なお、FEM解析のコンター図など、今回の面談資料中に記載されていないデータ等については、既に公表済の資料があることから、東京電力より公表資料の掲載場所を橘高教授に案内することとした。

7. 資料

- 福島第一原子力発電所原子炉建屋の耐震安全性評価と建屋長期健全性評価について
- （別紙）福島第一原子力発電所における2021年2月13日福島県沖の地震の観測記録

以上